

ものれ〜る 66号



平成 29 年 3 月 1 日 発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 279)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

知事と市町村長との 意見交換が行われました！

モノレールの
延伸を要望

平成29年2月15日に東京都庁で、小池都知事と武蔵村山市長との意見交換が行われました。

この意見交換は、東京都全体の発展に欠かせない多摩・島しょ地域の振興をより一層推進するため、都知事が市町村長一人一人との意見交換を通じて市町村ごとの課題や要望を伺い、今後の多摩・島しょ振興策及び市町村支援に反映させるために行われたものです。



～意見交換内容～

○藤野市長要望

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸については、市長から都知事に対し、次のように要望しました。

武蔵村山市は市内に鉄道駅がなく、市内全域が駅勢圏から外れています。また、高速道路へのアクセスも悪く、鉄道・道路の両方とも利便性が低い地域となっています。市の調査では、市民は通勤、通学で、比較的近いところにしか通えていないという結果も出ています。そのため、モノレールが延伸されれば通勤、通学の自由度が飛躍的に高まり、住宅地の整備に弾みがつきます。効率的な事業執行のためにも、新青梅街道の拡幅事業と時期を合わせて、早期にモノレールの事業決定をお願いします。

○小池都知事回答

これに対し、小池都知事からは次のように回答がありました。

モノレール早期延伸の熱い思いは受け止めさせていただきました。多摩地域の活性化に直接資するものであり、都としても整備効果の高い路線だと認識しておりますので、関係者間で連携しながら検討を深めていきたいと思っております。



今回の意見交換では、市長から本市の現状や課題等を説明し、モノレールの必要性を小池都知事に直接伝えることができました。東京都でも整備効果の高い路線であると認識されており、引き続き、東大和市、瑞穂町と連携を図りながら、モノレール延伸の早期実現に向けた取組を進めてまいります。

東京都が

「2020年に向けた実行プラン」

を公表しました。

平成28年12月に東京都が『都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020年に向けた実行プラン～』を公表しました。

この中で、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸については、「沿道の区市町や鉄道事業などの関係者とともに、具体化に向け、事業スキーム等の検討を実施する。」とされました。

東京都が、検討を実施すると位置づけたことは延伸に向けての更なる前進と考えています。

事業スキームとは、事業を推進していく上で、資金の調達から施設の建設・運営・維持管理に至るまでの全工程に関わる事業計画や事業の仕組みのことです。



100人会議 モノレール編 Part 2 が開催されます!!

日時：平成29年3月18日（土）14時から16時まで
（受付開始13時 入場開始13時30分）
会場：イオンシネマむさし村山（イオンモールむさし村山3階）
主催：モノレールを呼ぼう！市民の会
共催：ボランティア・市民活動センター
協力：武蔵村山市／日本モノレール協会／イオンシネマむさし村山



プログラム

- 第1部 基調講演
武蔵村山市長 藤野 勝／日本モノレール協会 前田 修司氏
- 第2部 パネルディスカッション
○パネラー（予定）
武蔵村山市長 藤野 勝
日本モノレール協会 前田 修司氏
モノレールを呼ぼう！市民の会 会長 米原 義春氏
武蔵村山市商工会青年部 部長 峰岸 喬氏
市内高校生を予定
○ファシリテーター
NPO法人CRファクトリー 事業局長 五井 利明氏
- 第3部 質疑応答

申込方法

下記の問合せ先にFAX、電話又はホームページでお申込みください。

※詳細は問合せ先まで御連絡ください。

問合せ先

TEL 042-560-1327
FAX 042-560-6232
モノレールを呼ぼう！市民の会
ホームページ
<http://monorail.sakura.ne.jp/wp/>